

1 単元 友達のことを知ろう

2 教科の目標

- 3人称単数の表現や人称代名詞を使って、友達紹介をすることができる。
- 話したことを聞いて、質問をし、それに対して答えることができる。

3 活用したICT

ビデオカメラ

4 活用したICTの工夫

- ・ ビデオで活動を撮影する機会を設けることで、友達とのコミュニケーションを楽しみながら、話したり聞いたりすることに集中して取り組む。(ビデオカメラ)
- ・ 英会話の様子を振り返り、全体でも良い表現を学び合う。(ビデオカメラ)

5 実践の様子

友達紹介をしよう with AET (アシスタント イングリッシュ ティーチャー)

AETや教師も加わり、学級全体で二人組を作り友達紹介を行った。それぞれ3分で交代して、紹介→質問の順に行った。質問は二つ以上するように指示した。黒板に提示した既習の質問を見て、インタビューする子どももいた。友達に関する4コマのイラストを準備しておき、それを見ながら、楽しそうに英語で会話し合う様子が見られた。

振り返りでは、話すことや聞き取ることができた英語を確認した。新しく友達のことについて知ることができたのは、この活動を通して英語でコミュニケーションができた証だと感じた。

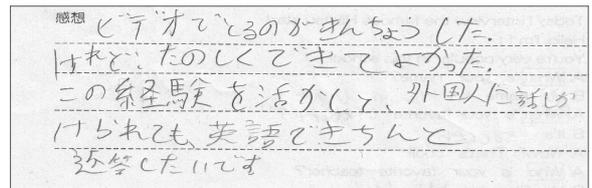
学校のスターにインタビューしよう

教室で一斉に行った友達紹介の後に、学習のまとめとして、二人組でビデオを撮ることにした。設定は学校のスターにインタビューをするというものであった。一人がインタビュアーになり、一人がスターになる。既習の表現を組み合わせて、インタビューの内容を決めることから楽しそうに取り組んでいた。



資料1 インタビューする様子

撮影時、ビデオカメラの前で緊張はするが、今までに習った表現をできるだけたくさん使って会話をする姿があった。ビデオを見て、「もう少し顔を見て話せば良かった」「結構英語でコミュニケーションができた!」「もっと疑問詞を使いこなせるようになりたい」などと感想をもち、2学期までの学習のまとめと、できることが増えたという達成感を得ることができた。(資料2)



資料2 インタビューの感想

6 成果と課題

- インタビューの活動を映像で撮ることは、別室で行ったので、3人称単数の表現や人称代名詞の使い方を確認することができた。
- 「インタビュー番組を撮影するよ」と呼びかけることで、意欲が高まり、アナウンサーのように聞こえやすい声を意識して活動することができた。
- ビデオで撮った内容をすぐに学級全体で視聴することで、リスニングの学習になり、英語での他の表現を学び合うことができた。
- 自分自身のインタビューの場面を見ることで、「もっとアイコンタクトをしたい」など自分自身の次への課題をもつことができた。
- ビデオカメラで撮影したものを他の子どもに見られることで恥ずかしがって、ビデオを視聴し振り返りを行うことに集中できない子どもがいた。